

情 報 公 開 文 書

研究の名称	セファゾリン低感受性 MSSA (CzIE) の疫学・病態解明及び新規検査法の構築
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	森永芳智
研究の概要	<p>【研究対象者】 血液培養検査でメチシリン感性黄色ブドウ球菌が分離された方</p> <p>【研究の目的・意義】 メチシリン感性黄色ブドウ球菌(MSSA)感染症は、敗血症や肺炎などの様々な重症感染症を引き起こしますが、本菌に対して有効なセファゾリン(CEZ)等の抗菌薬による治療にもかかわらず、予後不良となることがあります。近年、MSSA の中に、菌量が多い場合に CEZ が耐性を示す株 (CzIE) の存在が明らかとなっており、CEZ 治療に抵抗性を示す可能性が示唆されています。菌血症における分離頻度は海外では 10-55%とされますが、日本における現状は明らかではありません。本研究では、多機関共同研究により血液培養における CzIE の分離状況と臨床的特徴を明らかにすることを目的とします。さらに、CzIE のスクリーニングに有効な検査法を構築することを試みます。新規検査法で CzIE 株を早期に検出し、最適な抗菌薬療法について探索することが可能となることで、MSSA 感染症患者の予後改善に大きく貢献することが期待できます。</p> <p>【研究の方法】 本研究は、機関の長の実施許可後～2028 年 10 月 31 日までを全研究期間とし、東邦大学医療センター大森病院、東北大学病院、東京大学病院、富山大学病院からなる多機関共同研究です。 2022 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の 3 年間に血液培養から分離された MSSA 菌株を収集し、CzIE を検出します。さらに、CzIE を早期に発見する検査法について確立を試みます。また、CzIE 株とそれ以外の MSSA による菌血症を呈した症例について、診療録調査により臨床的背景(年齢、性別など)・臨床経過・予後を比較します。 研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。</p> <p>【研究期間】 機関の長の実施許可後～2028 年 10 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究期間中に得られる知見については、随時、学会又は医学雑誌で結果を発表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>(試料) 菌株 (代表機関 東邦大学医療センター大森病院へ送付)</p> <p>(情報) 菌株が分離された患者の検査データ、診療記録 (代表機関 東邦大学医療センター大森病院へ送付)</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	東邦大学医療センター大森病院 臨床検査部 准教授 吉澤 定子
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。

試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学 学術研究部医学系 微生物学講座 教授 森永芳智
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7256 FAX 076-434-5020 E-mail morinaga@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学 学術研究部医学系 微生物学講座 森永芳智